

回覧

留企広号
令和5年1月20日

各 位

留寿都村長 佐 藤 ひさ子
【公印省略】

令和4年度村政懇談会における村民からの要望等に対する回答について

日頃より村行政に対し、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年度の村政懇談会につきましては、令和4年11月上旬から12月上旬にかけて村内10か所で開催させていただきました。

この村政懇談会において皆様からいただいた要望や意見等につきまして、別紙のとおり村としての考え方や対応等を整理しましたので御覧ください。

今後とも村政への御理解と御協力をお願いいたします。

留寿都村役場企画観光課
T e l : 0136-46-3131
f a x : 0136-46-3545

村民からの要望等対応状況

NO	担当課	地区名	懇談会実施日	区分	意見、要望	村としての考え方、対応等
1	企画観光課	市街地合同	11月11日	公衆トイレ	道の駅の外のトイレについて、使う人の問題もあるとは思うが、あまりきれいではない状態だと聞いている。きれいに管理するように指導して欲しい。	ご指摘の箇所について現地を確認させていただきました。清掃を委託している業者の方に対し、重点的に清掃するよう指示し、併せて便器のコーティングの再施工を行うことで対応させていただきます。
2	農林課	市街地合同	11月11日	農地再編整備計画	他町村では農家の方からの不満はたくさんあるので、今からでも村の職員の方々も勉強はしておいた方が良いと思う。農家の意向を正確に受け取つていただき図面に反映させて欲しい。最終決定まで図面を書き直しながら、農家の方と打合せをして、正確に反映していただきたい。	農地再編整備に係る事業説明会を令和5年2月までに開催し、その後、事業を希望する農業者の方の意見も聞き取り事業化に向けて対応させていただきます。
3	農林課	向丘	11月14日	農業補助	マルチで廃プラスチックとして出す量がかなりの量になる。生分解マルチになれば廃プラスチックの量も減るし脱炭素にもなる。生分解マルチは補助を受けているがまだ高いので普通のプラスチックのマルチに戻そうかと考えている人もいる。村だけではなく国からの補助があるのであれば、プラスチックを減らすための力添えを検討してもらいたい。	令和5年度においては、原油価格高騰の影響により価格が上昇している農業用マルチの購入の一部を支援し、農業経営における経費負担が嵩られるように予算計上を行います。また、国等の補助事業については引き続き情報収集を行い農業者の方へ積極的に情報提供します。
4	農林課	向丘	11月14日	農業補助	様々な物が高騰する中で、肥料等の資材が高くなるのは間違いないので、総合的な対策を町村で打ち立てなければならない。ようてい農協は様々な町村が集まっているところなので、町村で支援のムラがでないよう、ある程度足並みをそろえて支援するようにして欲しい。	近隣町村と支援に対する情報交換を行っておりますが、自治体により財政規模や支援に対する考え方方が違うことから、支援に対して足並みが揃っておりませんが、本村としては令和5年度において、原油価格高騰の影響により価格が上昇している農業用マルチの購入の一部を支援する事業の予算計上を行います。
5	農林課	向丘	11月14日	農業補助	現在、有機肥料推進を国でも進めているところだと思う。現時点でも活用補助が出ているが、これから的情勢次第で補助額を上げてもらわねばならないことも出てくると思う。情勢が変わったとき、即座に柔軟に補助金として対応できるよう体制作りをしておいて欲しい。いつでも国から補助を持ってこられる状況を作つておいて欲しい。有機肥料に対してある程度補助を出しますという流れを作つていただきたい。	令和4年度より実施している留寿都村土づくり特別対策事業補助金は、補助事業量の平準化や経営規模による補助金の格差を是正するため、補助対象数量の上限を設けて予算計上しており、令和5年度も同様の措置で実施します。本村の限られた財源の中で効果的に事業の役割を果たす必要があるため、ご理解をいただきたいと思います。また、国等の補助金の活用については情報収集を行い積極的に活用します。

村民からの要望等対応状況

NO	担当課	地区名	懇談会実施日	区分	意見、要望	村としての考え方、対応等
6	農林課	向丘	11月14日	農業施策	農家も人手不足なので、研修施設のような建物を建ててもらい、外国人労働者を連れてきて住んでもらうようなことも検討して欲しい。外国人を雇ったとしても、住むところを確保して欲しいと言われる。居住施設がないと先へ踏み出すことは難しい。	本村単独での研修施設の整備は難しいですが、ようつい農業協同組合など関係機関と協議させていただき、人手不足に対する対策を検討させていただきます。
7	建設課	向丘	11月14日	村営住宅	村外の方が公営住宅に入居する際に、年収が入居希望者よりも高い留寿都村民の保証人を確保しなければならなかつたと思うが、条件が厳しいのではないか。条件を緩和することはできないのか。	村の公営住宅（以下「村営住宅」）の管理については、公営住宅法に基づき条例で定めています。村営住宅の入居の際、入居決定者と同程度以上の収入を有する連帯保証人の提出を要件としていますが、連帯保証人については村外の方でも可としています。この要件については公営住宅法に基づくものであり、村独自の要件ではなく近隣町村も同様の要件になっていますので、ご意見をいただいた条件緩和については、現時点で難しいです。
8	農林課	向丘	11月14日	有害鳥獣対策	アライグマの捕獲頭数がかなり増えていてそのために電牧を張らなければいけない状況。アライグマ駆除について奨励金は出ないのか。他町村では出るところがあると聞く。	農業者の皆様のご協力によりアライグマの捕獲頭数は年々増えていますが、本村に限らず、繁殖能力が高いことから全体頭数は減っていません。本村においては、奨励金制度の創設については現状では考えていませんが、春に捕獲を行うなど効果的な対策を行う外、箱わなの保有数量を増やします。
9	農林課	向丘	11月14日	有害鳥獣対策	電牧の補助金について、現状は線についてしか補助金が出ていない。バッテリー本体を入れ替えるときに補助金は出ないのか。	現行の補助制度においては電牧のソーラー等も含めた機器セットでの購入に係る経費を補助対象経費としています。村としては、電牧未設置の農地もあることから、まずは電牧の普及を図ることを重点的に支援させていただきます。
10	建設課	黒田	11月22日	村道	村道がえぐれでいて大分段差ができている。大掛かりでなくてよいので、簡易的にでも何か対応して欲しい。水や段差がひどい。舗装が薄いので一度穴ができると、路盤からやり直さないとまたすぐにえぐれてしまう。	降雪のため確認できないことから、雪解け後、現地確認の上対応を検討させていただきます。
11	建設課	黒田	11月22日	村道	村道で昔に切ってもらつたことがある柳の木がだんだん伸びてきて邪魔になってしまっている。一回切ってもらえればと思う。	降雪のため確認できないことから、雪解け後、現地確認の上対応を検討させていただきます。

村民からの要望等対応状況

NO	担当課	地区名	懇談会実施日	区分	意見、要望	村としての考え方、対応等
12	建設課	黒田	11月22日	村道	畑から水や泥が流れてうちで砂利を敷いた。側溝が埋まってしまった。出来ればその横の側溝は掘って欲しい。	農地等からの土砂流出防止については、広報するすつ（令和4年12月号）掲載の農林課からのお知らせのとおり、道路側溝等へ土砂が流出した場合、農地等の所有者により清掃等をお願いしているところです。こうした被害を未然に防ぐためにも、土砂流出防止の対策を講じていただきますようお願いします。
13	農林課	黒田	11月22日	有害鳥獣対策	後志には処理施設や加工施設がない。捕つたら捕つただけではどうなのか。留寿都だけではなくて、後志全体でもう少し考えた方が良い。	有害鳥獣対策については、近隣町村において意見交換を行っておりますが、自治体間において有害鳥獣対策の方法が同様ではないことから加工施設の設置の議論まではありませんが、広域的な取り組みについては、北海道の協力が必要不可欠であることから、機会を伺い、後志総合振興局などに要請させていただきます。
14	農林課	黒田	11月22日	有害鳥獣対策	アライグマも鹿も増え方が異常。電牧だけではなく金網で地域を囲んで侵入を防ぐといった取り組みも実例としてあると聞いた。地域で何か所かポイントを絞って囲んで、鹿などを出入りしないようにするだけで効果があると聞いたので、そのようなことも検討して欲しい。	令和4年度において喜茂別町に設置されている固定式の侵入防止柵を現地確認しましたが、地域の皆様の協力により施工及び管理を行っていることから、本村において、地域で組織を作り施工及び管理を行っていただける協力体制が構築できないか検討させていただきます。
15	住民福祉課	三ノ原町内会	11月24日	福祉バス	定期運行で乗る人は10人もいないので、あの大きいバスを使うのはもったいないと思う。他の町村では乗合タクシーをやっているところがある。福祉バスだと寄るところが限られてくる。ヘルパーを使う方法もあるが、中途半端な年寄りだと使いにくい。難しい問題かもしれないが、道南バスよりも安い料金で村内を回ってくれればうれしい。	老人福祉バスは、定期運行だけではなく、老人クラブ連合会の行事など、団体で使用することもあるため、現在の大きさのバスも必要ですが、生涯学習バスも同じ大きさであるため、次のバスの更新の際には利用状況などを勘案し、大きさについて総合的に検討させていただきます。また、福祉バスの定期運行の際に行っている買い物支援等につきましては、可能な限り利用者のご希望にお応えしたいと考えておりますので、停車をご希望する商店等がございましたら住民福祉課までご相談ください。
16	農林課	三ノ原町内会	11月24日	有害鳥獣対策	留寿都村でも有害鳥獣の駆除をしているが、ただ捕まえて処分ということになっているので、他町村のような加工場など命の循環で再利用が出来るようにしてもらえば思う。働いている人の循環にもなると思う。	本村が行う有害鳥獣駆除は、一般的な狩猟とは違い農作物等の被害防止のために行っております。鹿肉等の再利用については、安全性・品質の確保や安定供給に課題が多く、捕獲後、速やかに処理場へ搬入し処理することが必要ですが、限られた委託業務の時間内で実施することは不可能ですので、再利用については考えていません。

村民からの要望等対応状況

NO	担当課	地区名	懇談会実施日	区分	意見、要望	村としての考え方、対応等
17	企画観光課	三ノ原町内会	11月24日	道の駅	留寿都の道の駅の売り場でレジに行っても挨拶もない、案内もないという話を何回か聞く。道の駅は留寿都の顔なので親切丁寧にしていただければリピーターも増えると思う。打合せがあれば伝えてもらいたい。	道の駅の指定管理者である留寿都ふるさと振興公社へご意見があつたことを伝えました。引き続き改善に努めさせていただきます。
18	診療所	南二線	11月25日	マイナンバーカード(保険証)	マイナンバーカードを読み取る機械は読み取りが遅い。顔認証もしてくれないので保険証を窓口へ渡している。もう少し反応を良くして欲しい。	カードの読み取りに係る不具合については、他の医療機関においても同様の事象が確認されているところであり、これまでにもシステム会社等に問合せの上、対応を検討しています。引き続き改善に努めますのでご理解をお願いします。
19	総務課	南二線	11月25日	職員対応	職員の方にもう少し違った対応をしてもらいたい。年配の人が職員に説明してもらっても分からぬといふ時がある。違う職員に説明してもらえば違う説明もあるかもしれない。用語がいろいろ多いので、聞いている人は分かっていないのではないかと思う。	ご指摘の点については、職員に共有させていただき、分かりやすい説明を心掛けていきます。
20	農林課	南二線	11月25日	有害鳥獣対策	ウサギの被害も結構あるが、かなり大きいので箱罠に入らない。箱罠の大きさが小さいのではないか。何割かはもう少し大きいものにしてもよいのではないか。	ウサギによる農作物の被害の報告が増えており、大型の箱罠による捕獲も実施いたしましたが、捕獲には至っておりません。捕獲方法も含めて情報収集を行い効果的な対策を検討させていただきます。
21	教育委員会	三ノ原	11月28日	義務教育学校	教員が、今の中学校より勤めたいと思える学校になればワイン-ワインになれると思う。そういう学校を作ってもらえると、デメリットが少ない良い学校になると思う。生徒のためはもちろんだが、働く人の視点も考慮して欲しい。	ご意見として賜りました。

村民からの要望等対応状況

NO	担当課	地区名	懇談会実施日	区分	意見、要望	村としての考え方、対応等
22	保健医療課	三ノ原	11月28日	新型コロナ ウイルス感 染症対策	村が毎日のようにコロナ に気をつけてくださいと いうメールを出している が、人数をお知らせする 必要はないので、感染が 爆発しそうなところ（施 設）があれば、文言を変 えて、注意をより促すよ うにして欲しい。同じ内 容で毎日注意してくだ さいと来ているが、もうこ ちらはもう注意してい る。	現時点では重要なことは、基本的 な感染症対策を継続していただ くことであり、これを繰り返し お知らせすることで、住民の皆 様の気に留めていただくことが 村全体の感染拡大を抑えること につながると考えています。 村の施設等（保育所、学校を含 む）については、集団感染等の おそれがあり、通常の施設運営 又は事業運営に支障をきたす場 合は、住民の皆様に周知するこ ととしており、保育所や学校に ついては、保護者の皆様にも情 報提供されていますので、今後 もこれを継続させていただきます。 村としては把握できる確か な情報を皆様にお知らせするこ とに務めるとともに、広報の在 り方については引き続き検討させ ていただきます。
23	建設課	知来別	11月29日	村道	最近ゲリラ豪雨による ものが多く、大雨が降る と泥が流れてくる。道路 の横に側溝を作ってもら いたい。上からすごい流 れてきてくるのでとても 対応できない。道路に行 かないように作って欲 しい。	降雪のため確認できることか ら、雪解け後、現地確認の上対 応を検討させていただきます。
24	建設課	知来別	11月29日	村道	出入口のところ、取り付 け道路のところでアス ファルトを盛り上げて欲 しいということ、何年 か前に対応してもらっ たことがある。ただ、除雪 車で削られて2、3年でダ メになった。定期的に やってもらわないと意味 がない。	降雪のため確認できることか ら、雪解け後、現地確認の上対 応を検討させていただきます。
25	診療所	知来別	11月29日	マイナン バーカード (保険証)	マイナンバーカードで保 険証の紐づけをしたが、 この前診療所に行ったと きに、保険証が変わっ ていて使えなかった。保 険証が変わればまた新しく 申請し直さないといけ ないのか。	保険証が変わった際にマイナン バーカードの手續は不要です。 加入する医療保険が切替わる際 に、新たな保険者において情報 の登録に時間を要する場合が あることから、今回の事案が発生 したものです。資格確認ができ ない場合は、保険証を提示いた くようお願いします。また、 マイナンバーカードが使えな かった場合は、新たな保険者に 問合せの上、登録を依頼してく ださい。
26	住民福祉 課	北二線	11月29日	マイナン バーカード	留寿都は住民票といった 行政文書をコンビニでま だ取得できない。これだ け使えるので皆さん取 得しましようとかと言った 方が良い。何も使えない のに作って欲しいとい うのもどうなのか。	現在、村民の約9割の方にマイ ナンバーカードの申請を行って いただいている。今後は、こ の高い普及状況を踏まえて、マ イナンバーカードを利用した住 民の利便性を高める行政サービ スを行っていくことを考えて います。

村民からの要望等対応状況

NO	担当課	地区名	懇談会実施日	区分	意見、要望	村としての考え方、対応等
27	農林課	北二線	11月29日	農地再編整備計画	本当にやるのであれば国営でやって欲しい。村としてビジョンを掲げて今後のあり方という提案をして欲しい。	農地の再編整備については、受益面積により国営事業又は道営事業となるため、事業を希望する農業者の負担が大きく異なることから本年中に希望調査を行い受益面積を確定します。村としての考え方については、後日お示します。
28	農林課	北二線	11月29日	農業補助	堆肥を振りたくても振る手間がないため、鶏糞を使っている。肥料高騰対策として、鶏糞もその補助の対象にしてもらいたい。	本村の畜産農家から供給される堆肥を耕畜連携として村内において消費するため補助事業を創設し事業を推進しています。供給量に不足等が生じる場合などの状況があれば、他の堆肥も含めた新たな補助制度を検討させていただきます。
29	建設課	南三線	12月6日	村道	畑から自宅付近へ泥水が流れてきた。排水の方は畑から流れてくる泥水を村道の下を通して、川の方へ排水するようには作られているようではある。ただ、どうしても、コンクリの土管のところに泥があると泥水があふれてくる。春先の雪解け水がすごく心配。その泥を止めても、村道から下に流れしていく側を何とかしなければ何度も同じことを繰り返すと思う。抜本的な対応をお願いしたい。	ご意見ありました畑については、真狩村の企業者が村内で農業を営むため造成を行っている土地（以下「造成地」）であり、この造成地からの土砂が村道等に流出し道路排水に支障をきたしている状況でした。大雨が続いた令和4年10月は特に被害が続いたため、企業者と協議を重ねた経過があり、企業者より対策を講ずる旨回答をいただいているので、その対応を注視しているところです。
30	企画観光課	南三線	12月6日	地域おこし協力隊	地域おこし協力隊の人がいるが、公民館にいる隊員以外の隊員は何をやっているのか。何しに来ているのか、それほど必要な人間だったのか。	1人は観光振興、もう1人は道の駅活性化を目的として活動しており、現在は専ら観光振興や道の駅の勉強や研究をしているところです。活動内容について住民の方には見えにくいところもありますので、村としても道の駅を中心とした観光の活性化の目的を達成するため積極的に活動に入していく考えです。
31	農林課	南三線	12月9日	ゼロカーボン施策（農業）	生分解性マルチの補助金を頂いているが、生分解性マルチは畑に漉き込むので、十分ゼロカーボンの取組の一つになると思う。今現在で取り組んでいることなのでもっとアピールすべきだと思う。ゼロカーボンを目指しましょうということで、その部分を一部補助でなくもっと大きな補助にするとか、少しでも使ってくださいという後押しをして欲しい。同じ補助金でもそれは村としてもアピールできる材料であるから、言い方を変えるだけで伝わるもののは全く変わってくると思う。	令和5年度の補助事業募集の際にご意見ありました趣旨を踏まえてゼロカーボンの取組みについてアピールを行います。補助金額については、村の財政状況も考慮しながら適切に判断します。

村民からの要望等対応状況

NO	担当課	地区名	懇談会実施日	区分	意見、要望	村としての考え方、対応等
32	農林課	南三線	12月6日	有害鳥獣対策	シカを撃っている方と話をした際に、駆除するのは10月で終わったと伺った。北海道では10月、11月が鹿の事故が多いと言っている。農作物だけのための駆除ではなく、道路の対策として車とシカがぶつからないための駆除を続けてもよいのではないかと思っている。農家の仕事が終わっても住民の安全を考えたときに、11月に入っても続けてもらえればと思う。	令和4年度から実施しているエゾシカ捕獲等業務委託については、委託期間を11月30日までの期間として契約しています。本年については、降雪等の状況や巡回回数の実績により11月21日が最終日となりました。なお、委託期間終了後は、獣友会による捕獲を実施しています。
33	教育委員会	南三線	12月6日	生涯学習バス	地区で生涯学習バスを借りて研修をさせてもらった。コロナ禍で利用する人数も減ってと思う。バスを更新するときがあればもう少し少人数でも使えるようなことを考えていただきたい。大きなバスだと無駄のような感じもするので、小型化して、もっと少人数でも使えるような考え方を持つていただけたらと思う。ジャンボタクシーのようなイメージも考えてもらえば。	当面、車両を更新する予定はありませんが、今後、車両を更新する際の参考とさせていただきます。
34	教育委員会	南三線	12月6日	生涯学習バス	地区の研修旅行で申請したとしても、どの地区も運行基準の10人を満たさなくなっていくと思う。基準を決めたときの世帯数は今と違うと思うので、果たして現状にあつているのかなと思う。今の情勢の利用する側のニーズの中では、その10人というのではなくりネットなのでないか。	生涯学習バス運行基準において費用対効果の面から10人を目安としているところですが、10人に達しない場合には、各団体の活動状況をお聞きし運行の可否を判断させていただきますので、まずは、教育委員会事務局にご相談ください。
35	建設課	登合同	12月12日	村道	ルスツ羊蹄ファームへの村道については、舗装と舗装の間に砂利道が入っている。その区間を舗装にして欲しい。夏場に雨が降れば穴が開いて道路が凸凹して、軽自動車で走ると腹を擦ったりすることがある。できれば道路を舗装してつなげて欲しい。	砂利道区間の維持管理については適宜対応しているところですが、舗装改良への要望については村政懇談会で回答したとおり現時点では難しいです。
36	建設課	登合同	12月12日	村道	舗装を要望している村道について、カーブミラーを付けて欲しいという要望もある。えぐれている砂利道のところで見えないところがあり、前から大きなトラックが来てはっとしたときがあった。カーブミラーを分かるようにつけて欲しい。	要望ありましたカーブミラーについては、雪解け後、現地確認の上対応を検討させていただきます。

村民からの要望等対応状況

NO	担当課	地区名	懇談会実施日	区分	意見、要望	村としての考え方、対応等
37	建設課	登合同	12月12日	村道	パイロットファームに行く舗装道路であるが、カーブミラーが無いために急ブレーキをかけた跡が結構ある。そこで事故にならないうちに、カーブミラーは付けて欲しいと思う。	要望ありましたカーブミラーについては、雪解け後、現地確認の上対応を検討させていただきます。
38	企画観光課	登合同	12月12日	光回線整備	光（回線）はルスツ羊蹄ファーム登農場のところまで行っているが、第3農場の方は使えていない。今はWi-fi補助機を使っているが、30分ももたないので書類は紙で手渡ししている。書類を処理するだけでかなり時間がかかってしまう。光（回線）の期待はしていたが、まだ進んでいるような感じではないので、村の方からも支援して欲しい。御協力していただきたい。	村としてもNTTの方と折衝していますが、条件的に折り合ひがつかず現在に至っているところです。代わりの通信手段として、スターリンクという衛星を使ったインターネットのサービスが10月に新たに出ており、そのサービスが使えるのではないかと考えているところです。まだ説明できる程の情報はありませんが、分かり次第相談させていただきたいと考えています。
39	建設課	登合同	12月12日	除雪	パイロットファームに行く道路について、何とか除雪の方もしていただけないか。	パイロットファームに行く道路（以下「本線」）については、村の除雪未実施区間であるため、道路法等に基づく村道の除雪作業を畜産事業者で実施したい旨の申請を受け、本申請による除雪作業を承認したところです。本線の除雪要望については、村政懇談会で回答したとおり現時点では難しいですが、昨年と同様の雪解け時の支援は検討させていただきます。
40	農林課	登合同	12月12日	農業補助	電牧の補助の関係であるが、他の町村に自分の畑があった場合に補助の対象となるかどうかを知りたい。	令和4年度までは本村以外の農地については補助事業の対象となっていましたが、同様の要望及び問合せ等がありますので、令和5年度の事業実施にあたり検討させていただきます。
41	建設課	登合同	12月12日	村道	道路の側溝について、水が流れる度に草がたまる。村も草を刈っているが、草を刈るにしても、刈ったらそのまま。風が吹いたら側溝に草が皆入ってしまう。すぐ詰まるので少し見てもらいたい。	本線に限らず村道の草刈りについては年2回の実施で、草の収集は行っていないのが現状です。村道の機能に支障がある場合に適宜対応させていただきます。
42	建設課	登合同	12月12日	村道	ガードロープのところの草を刈る際に除草剤を使用する方法は出来ないのか。	除草剤散布については、周辺に悪影響を及ぼす懸念があるため現実的に難しいです。

村民からの要望等対応状況

NO	担当課	地区名	懇談会実施日	区分	意見、要望	村としての考え方、対応等
43	各課	五ノ原	-	公金収納	出納の支払方法を増やして欲しい。（クレジットカード、携帯電子決済他）	<p>村で使用可能なクレジットカードや携帯電子決済等の項目については次のとおりです。</p> <p>【村税】 クレジットカードでの支払いについては、現在PayPayやLINEPay等の電子マネーのチャージ方法として間接的に活用が可能です。携帯電子決済については、本村では国の方針に基づきeLTAX（地方税納税システム）の改修を適時行っており、令和5年度より住民税、固定資産税、国民健康保険税、軽自動車税については、eLTAXを利用してのスマートフォンやパソコンからの電子決済が可能となる予定です。当初課税時期（4月から6月）に合わせてお知らせしますのでご検討ください。</p> <p>【水道料金・下水道料金】 スマホ決済の種類として、PayPay、LINEPayが対応可能です。</p> <p>上記以外の新たな電子マネー等の支払い拡充については、村としての利用料が発生するため普及の度合いと利用料のコストバランスを勘案しながら検討させていただきます。</p>